

横浜市一般廃棄物処理基本計画(素案)に対する市民意見募集の状況について

1 パブリックコメントの実施方法

(1) 意見募集期間

平成 22 年 9 月 15 日(水)から 10 月 14 日 (木)

(2) 意見提出方法

①郵送 ②ファクシミリ ③電子メール ④直接持参

(3) 資料の入手方法

区役所広報相談係、市役所市民情報センター、資源循環局で配布。
ホームページにも掲載

2 パブリックコメントの状況

(1) 提出の状況

提出者数	49名(男性33名、女性14名、不明2名)
提出者の区別内訳	鶴見区2名、神奈川区6名、西区2名、中区1名、 港南区3名、保土ヶ谷区3名、旭区1名、磯子区5名、 金沢区2名、港北区4名、緑区1名、青葉区1名、 栄区6名、不明12名
提出方法	郵送26名、Eメール12名、ファクシミリ3名、持参8名
意見数	176件
分類と意見数	①基本理念、計画目標、5つの基本方向、 市民・事業者・行政の役割 51件
	②具体的施策 113件
	ア 環境学習・普及啓発 19件
	イ リデュースの推進 13件
	ウ 家庭系ごみ対策 48件
	エ 事業系ごみ対策 11件
	オ ごみの処理・処分 14件
	カ きれいなまちづくり 8件
③し尿等 1件	
④その他 11件	

(2) 主な意見

①基本理念、計画目標、5つの基本方向、市民・事業者・行政の役割

○基本理念は素晴らしいが、市民・事業者・行政の三者の連携は具体的に
どうしたら実現できるのか

○もっと高い目標数値を設定してほしい

○廃棄物の計画で、最初の目標に温室効果ガス削減を掲げていることに違和感がある

② 具体的施策

ア 環境学習・普及啓発

- 高齢者や外国人にもわかりやすい広報をしてほしい
- 地域と連携しながら自主的・自発的な取組を行うグループの活動が全市的に広まるよう取り組むべきである

イ リデュースの推進

- リデュースの推進は、脱温暖化の取組として大変よい
- 小売業者はトレイをラップ等に変えるなど過剰包装をなくすべきである

ウ 家庭系ごみ対策

- 高齢単身世帯の増加に対応したサービスを充実してほしい
- 分別の推進のため、分別されていないごみ袋のチェックを強化してほしい
- 集合住宅の住人のごみ出しルールが守られておらず困っている。条例で集合住宅にはごみ箱設置を義務付ける
- 有料化して戸別収集すべき
- 生ごみを資源化してほしい

エ 事業系ごみ対策

- 事業系ごみの処理手数料を値上げすればごみ量を減らすことができるのではないか

オ ごみの処理・処分

- 焼却灰の資源化については、最終処分場の延命化のため経済的な観点で割り切れる問題ではないことを念頭に置き、推進すべきである

カ きれいなまちづくり

- たばこの喫煙所の設置場所から 10 メートル以上離れた場所で喫煙している人がおり、通行人が迷惑している
- 不法投棄などを未然に防ぐためにも、地域や警察と連携してパトロールや看板増設などが必要である

<参考>

横浜市中期 4 か年計画に対するパブリックコメント

施策 3 3 「資源が循環するまち」に関する意見の提出状況

- 提出者数 35 名、 意見数 44 件

3 今後のスケジュール

- 12 月上旬～中旬 常任委員会
「横浜市一般廃棄物処理基本計画（案）について」
- 12 月下旬 計画策定、告示